

ASKOT

アスコット

2004.11.1 発行



両毛広域生涯学習ネットワーク推進協議会ってなに？

足利市、佐野市、桐生市、太田市、館林市の5市で構成され、両毛地域という日常生活圏域での広域学習ネットワークの構築に向けて結成したものです。

事業・情報・施設等、様々なネットワーク化について検討、研究、実践をしています。

ASKOT (アスコット) ってなに？

足利市のA、佐野市のS、桐生市のK、太田市のO、館林市のTと、それぞれの市のアルファベットから頭文字をつなげて創った造語です。両毛5市の市・県域を超えた連携により様々な生涯学習に関するネットワークが形成、発展することへの願いが込められています。

広域的な情報の収集と提供、様々なネットワーク化に向けた学習情報などを分かり易く、身近にお届けします。

皆様の生涯学習のための情報紙としてお役立て下さい。



主な活動について

- ☆生涯学習事業のネットワーク
両毛5市広域学習リレー講座の開催
各市主催事業の広域開放へ向けた取り組み
- ☆生涯学習情報のネットワーク
推進協議会の生涯学習情報紙の発行
各市の生涯学習事業に両毛5市コーナーの出版
- ☆生涯学習施設のネットワーク
各市の公民館職員の研修交流事業の実施等、
公民館のネットワーク化へ向けた取り組み

リレー講座が開催されました

平成16年8月8日(日) 両毛広域生涯学習ネットワーク推進協議会主催による第1回リレー講座が太田市社会教育総合センターにおいて開催されました。

平成17年度は足利市と桐生市で開催を予定しています。ご期待下さい！



編集
発行

両毛広域生涯学習
ネットワーク推進協議会

- 足利市教育委員会生涯学習課 (☎0284-20-2217)
- 佐野市教育委員会生涯学習課 (☎0283-24-5333)
- 桐生市教育委員会生涯学習課 (☎0277-46-1111)
- 太田市市民生活部生涯学習課 (☎0276-22-3442)
- 館林市教育委員会生涯学習課 (☎0276-72-4111)

市域を超えた学習相談等にも応じますので、お気軽に最寄の生涯学習課までご相談ください。

足利市 人の魅力で輝くまち！！

ASHIKAGA CITY

足利市の生涯学習

学び合いで築く文化と人づくり

★足利の教育目標について

「足利市の教育目標」は、多くの市民の皆さんのご協力をいただき、市民の意識や実態をふまえて、昭和56年に作られました。

この教育目標は、家庭教育や学校教育、社会教育など教育のすべてをまとめて作られており、内容を大きくとると7つの柱に分かれます。この内容の柱ごとに年齢別に区分された乳幼児期から児童期、青年期、壮年期、高齢期までの各発達段階に即した人生各期にわたる全部で70の目標と、その具現のための具体策及び、教育機能連関

から成り立っています。

「足利市の教育目標」には、市民の皆さんが自由に自立しつつ、しかも広い社会性を身につけ、思いやりと生きがいに満ちた心豊かな市民になっていただきたいとの願いが込められています。

★教育目標と生涯学習

「足利市の教育目標」は、家庭や地域、学校、職場、行政などが連携を図りながら、市民一人ひとりが自分に合ったそれぞれの目標を立て、自ら主体的に実践していくための教育的基礎資料として作られています。

このため、この教育目標を参考にし、自分や家庭の学習目標などを立て、家庭や地域、職場などで実践することが必要となります。

生涯学習は、市民の皆さん一人ひとりが主体的に取り組むべきものであり、その学習目標も自分に合ったものを選び、自ら決定することが基本となります。

本市では、この「足利市の教育目標」の具現化を図ることが生涯学習社会の実現に通じることと位置づけて、その推進に努めています。

■「足利市の教育目標」7つの柱■

1. 郷土の自然や文化財の愛護と文化の振興
2. 健康・安全の保持増進
3. 社会連帯感の育成
4. よき家庭人の育成
5. よき職業人の育成
6. 主体的な生活態度の育成
7. 国際社会に生きる日本人としての自覚

紹介します！ 学校ボランティア市(いち)

足利市では、平成15年度より学校ボランティア市を開催しています。これは、学校ボランティア活動の理解と拡大を目的としています。

昨年のボランティア市では、手話、読み聞かせ、外国紹介などのブースが設けられ、学校ボランティアの方と教員や小中学生との活発な交流が行われました。



みんなで子どもたちを育てよう！
学校ボランティア市のように

学校ボランティア制度は、体験学習などを通して、子どもたちの「生きる力」の育成をめざして設けられました。

両毛広域へ活動の輪が広がることを願っています。

アクセスしてください。
足利市の生涯学習課ホームページ

ようこそ！

足利市の生涯学習情報へ

日本最古の学校のあるまち「あしかが」から、生涯学習はじめてみませんか？

～いっしょに「生きがい」をたのしみ～

ご覧になりたい項目をお選びください。

- 講座・イベント情報
- グループ・サークル情報
- 指導者情報
- リンクの部屋
- 生涯学習資料

更新日 2004年6月14日

郵便	教育委員会 生涯学習課
総機	生涯学習推進係
外機	20-2217 20-2219
内機	202-2330 2034-2335・2035
FAX	22-0641
E-mail	kyogaku@city.ashikaga.tochigi.jp syogaku@city.ashikaga.tochigi.jp
位置	教育庁舎3階

足利市トップページアドレス
<http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/>
足利市のトップページ「生涯学習情報」
からお入りください。

お問い合わせ先：足利市生涯学習課 TEL.0284-20-2217 FAX.0284-22-0641
メールアドレス ■syogai@city.ashikaga.tochigi.jp



私らしさ咲かせます 楽習のまち佐野

SANO CITY

市民主役のまちづくりを目指して

楽習のまち佐野について

佐野市は、平成5年に「楽習のまち佐野」都市宣言を行い、キャッチフレーズを「私らしさ咲かせます」としました。それは、私という個人の生活や人生の充実を基本とし、市民一人ひとりの自発的に行う学習が、地域の様々な活動に発展し、地域社会の活性化をもたらすような市民主役のまちづくりを目指すものです。そのため、市民の「楽習」活動を積極的に支援しています。



佐野市民大学「楽習カレッジ」

住民参画による学びのまちづくり

活躍する楽習講師

楽習出前講座として「行政編」以外にも、「楽習講師編」を実施し、学びたい人と教えたい人をコーディネートしています。また、年に1度楽習講師が一堂に会する「楽習講師フェア」を開催し、より積極的に学びの場の提供とPRを行っています。

さらには、講師自らが講座を主催し、生涯学習課が、会場・広報・受付等を支援しています。



佐野市生涯学習フォーラム「楽習講師フェア」

市民大学「楽習カレッジ」企画員制度

市民自らの応募による企画員が、様々な内容・形態のプログラムを提供しています。学びたい人、大歓迎です。

ボランティア活動

その他にも様々なボランティア活動が市内で展開されています。ボランティア活動に興味のある方は、是非ご連絡ください。

あなたの楽習を応援します

「何か学びたい」
「何か行動してみたい」
「こんな人に会ってみたい」
「こんなことやってみたい」

一人ひとりに個性があるように、生涯学習の内容・方法等も人それぞれ個人差があると思います。私たちは、そんなみなさんの気持ちを応援します。

お気軽に生涯学習課までご相談ください。

楽習講師に登録しませんか

佐野市民の学習活動を基本的にボランティアで支援していただける「楽習講師」を募集しています。

佐野市外の方でも登録できますので、ご応募をお待ちしています。

講師に対して主に次のようなことを支援しています。

- ①生涯学習メニュー「フレット「楽習のてびき」」に講師情報を掲載
- ②楽習出前講座「楽習講師編」の講座メニュー登録
- ③楽習講師主催講座への会場・広報・受付等支援
- ④その他、学習相談等への案内

「楽習のまち佐野」都市宣言

私らしさを咲かせたい。
生きている意味をいつも感じていたい。
人や社会や自然をいつまでも学び続けたい。
学びと遊びの中で、共に育つ楽習のまちをつくりたい。

一人ひとりの生きる喜びと個性を大切に、
私らしさが花開き、ふれあいのある住みよいまちをめざして、
ここに、佐野市を「生涯学習都市」とすることを宣言します。

平成5年10月2日

佐野市

※佐野市は、平成17年2月28日に、田沼町・葛生町と合併を予定しています。
そのため、内容・制度等変更する場合がありますのでご了承ください。

桐生市の生涯学習

桐生市の生涯学習は、よりよい地域社会づくりへの市民の活発な活動こそが生涯学習の姿ではないかと考え、生涯学習の目標を“まちづくり”に置き、「自分さがし 出会いさがし ふるさと夢さがし」をキーワードに、生涯学習桐生市民の会が中心になって推進しています。市民が様々なことを学び自らを高め、問題意識を持って様々な角

度からまちづくりに取り組むことによってこのまちが発展すると考えます。

生涯学習は“承り学習”ではなく、各人の生涯にわたる自発的な学習活動で、その推進にあたっては市民自らが考え行動していくことが大切であり、そうした進め方をとらないかぎり、真に市民の間に根づいた生涯学習社会を実現させることはできないと考えるからです。

また、各地区公民館を主な活動拠点として、生涯学習推進委員がそれぞれの地区の特色を活かした生涯学習活動を展開しており、「桐生を好きな子供の育成」という家庭・学校・地域社会が連携して推進している特別プロジェクトでは、豊かな教育資源を活用し、特色のある事業を展開しています。



公民館の情報は、 ホームページでも確認OK！

市内14ヶ所の公民館情報が、桐生市のホームページで確認できます。情報は公民館ごとに、①公民館利用案内 ②公民館施設案内 ③公民館だより ④サークル一覧の項目で情報を見ることができます。また、各公民館において利用者登録の手続きをすると、施設の予約をすることが出来ます。ぜひご覧ください。

◆桐生市役所ホームページアドレス◆

<http://www.city.kiryu.gunma.jp/>



子ども達に川遊びを体験してもらいました。

生き生き市役所出前講座

「生き生き市役所出前講座」は平成12年1月から始まり、市民の皆さんが知りたい、聞きたい、学びたい市役所の仕事を職員が出向いて説明しています。市役所を身近に感じ、また市民の皆さんの暮らしとのかかわりあいをより一層理解していただけるよう、講座内容等を色々工夫しています。

◆平成15年度の実績◆

実施件数 97件 受講者数 5,387人

◆平成15年度・講座ベスト5◆

わが家の救急隊	9件
市長講話	8件
学校給食を食べてみませんか	8件
子育て体験学習	7件
桐生が岡動物園のどうぶつたち	7件

生涯学習桐生市民の会

生涯学習桐生市民の会は、平成3年10月に発足し、生涯学習関係団体から推薦された出向者、地区公民館長から推薦された生涯学習推進委員、有識者などで構成されています。現在8つの目的別委員会があり、生涯学習活動を通してのまちづくり・ひとづくりを進めるために様々な活動を続けています。市内外にかかわらず誰でも自由に入退会が出来ますので、興味のある方はぜひ事務局にお問合せください。



第3回生涯学習市民フェスティバル

太田市 特色ある生涯学習の推進

— OTA CITY —

太田市の生涯学習

本市は、太田市生涯学習文化都市推進基本構想を策定し、市民一人ひとりの学習活動や社会参加を基調として共に生き、共に学びあえる、潤いと活力に満ちた生涯学習社会の形成に向けて推進を図っています。

学習メニュー方式は本市が全国に先駆けて試行した、「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」、「なんでも」必要な時に必要なことを学ぶことのできる生涯学習の援助方式です。

また、「生涯学習地区委員会」は市内に9地区ある行政区単位に組織され、活発な活動を展開しています。

市の機構では、平成12年度から生涯学習課を教育委員会から市長部局の市民生活部に移管した位置づけを行い、

より市民のニーズに密着した生涯学習の推進を図るための組織化を進めました。

太田っ子ゼミ (学習メニュー方式の実践例)

・あなたの生活に合わせて学びたいものをセレクト

毎日の暮らしの中で、必要により知りたいと思ったときに知る(学ぶ)ことが出来たらよいですね。太田っ子ゼミ

ミは「いつでも」「どこでも」「なんでも」「だれでも」知る(学ぶ)ことが出来るよう、「知る(学ぶ)ための情報」を「メニュー化」して提供しています。

各地区行政センターで学ぶ、自宅でビデオテープで学習するなど、学習メニューの中には、講座メニュー、放送メニュー、教材メニューが用意されています。それぞれ学習したい人がご自分のプログラムを作成して学習の開始です。



託児所も用意されています



講話学習の様子

生涯学習地区委員会事業について

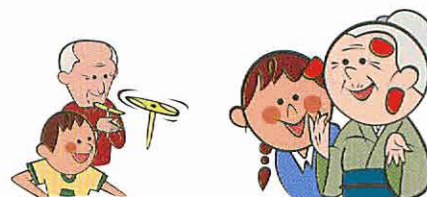
・地域社会の人材を活用

市民の中には、生涯学習の成果を地域における諸活動に生かしたいと望んでいる人が少なくありません。また、日常生活と職業や経験を通して培った、高い資質や能力を持つ人々がいます。そして、これらの人々の専門的な知識や技能については、生涯学習に適

切に活用させつつ、地域住民に教えたいて考えている人もいます。

これらの人々をボランティア指導者として参加協力が得られる体制を図り、市民の生涯学習ニーズの多様化への対応、コーディネーター的役割の質の向上のため、生涯学習地区委員会活動の

中で、講座などの開設などを通し、指導者派遣事業を推進しています。



※平成17年3月28日、太田市、尾島町、新田町、藪塚本町が合併し新たな太田市が誕生します。

館林市の生涯学習

★館林市教育目標

館林市教育委員会は、優れた知力と豊かな人間性をもち、心身ともにたくましく、国際社会に生きる日本人を育成することを目指して、教育行政を推進します。

そのため、教育制度に対応して教育内容の改善や教育環境の整備を図り、子供たちに「生きる力」を育む教育を進めます。

また、人々が心の豊かさや生きがいを持ち、だれでも、いつでも、どこでも学べる生涯学習社会、及び健康でたくましい体と心をつくり、連帯の輪を広めながら楽しくスポーツのできる生涯スポーツ社会の構築に努めます。

★現況と課題

本市の生涯学習は生涯学習推進基本構想に基づき、生涯学習社会の構築をめざして公民館の整備、人材の育成や生涯学習の普及啓発と実践に努めてきました。さらに平成8年度には生涯学

習推進本部を新設し、館林全体を学びの場とする支援体制を整備しました。このことによりふるさとづくり出前講座の開講、ふるさとづくり市民フェスティバルの実施、学習情報の収集提供を図るための生涯学習総合窓口の開設など、生涯学習の全市民的な取組みを進めることができました。

今後も市民の高度化、多様化する学習要求に応じた生涯学習活動の振興を図るために、生涯学習推進体制を拡充強化し、市民の自主的な学習活動を支援するとともに、指導者・協力者等の人材活用や適切な学習評価を行う必要があります。

また、社会教育機能のネットワーク化をさらに推進して、様々な情報の一元化による情報提供機能の充実と併せて、生涯学習活動支援機能の整備充実を図る必要があります。

★基本方針

生涯のいつでも、どこでも自由に学ぶ機会が選択できるよう、学習機会の拡充を図り、その成果が適切に評価される社会の実現を目指すとともに、地域社会の連帯や新しい絆を形成しながら、活力に満ちたまちづくりを推進します。

★基本計画

- (1) 推進体制の充実
- (2) 人材の育成
- (3) 情報提供の充実
- (4) 生涯学習支援機能の整備

★主要事業

- ・生涯学習推進事業
- (生涯学習推進組織強化、学習成果の評価と人材活用、生涯学習情報提供ネットワーク推進、短大・大学・広域圏連携) など

館林のボランティアを紹介します

『子育て支援ボランティアすくすくサポート隊』

近年、家庭教育の役割が再認識されております。その流れの中で提言され生まれてきた活動です。子育て経験もなく孤立しがちな若い母親に、子育ての先輩達が、実際の活動を通して、子育てを支援しようとするものです。

ボランティアは、「すくすくサポート隊」と呼ばれ、毎月2回程度配属の公民館（現在5館）に集まり、1回2時間を目安に訪れる母子と一緒に活動します。

活動の実際は、一緒に遊ぶ、心配事などの相談に乗る、子育てミニ学習などです。これを通して、母親同士の仲間作り、子ども同士の交流体験などが可能です。

最近、市民の間でも大分知られるようになり、多い所では、十数組以上集まっている公民館もあります。



▲『大きなイモとれたかな?』
すくすくサポート隊と一緒にジャガイモ掘り